「もろってけろ」

　母さん、十万円は重すぎてつかえんよ。だって父さんが他界した時、母さんは三十歳。それから働き通して、三人の子を育てた。さらに八十歳からラーメン屋の皿洗いをした。生爪に火を点すようにして貯めたお金、十万円を受け取るわけにはいかん。

　いらん、いらんよ。母さんが好きなようにつかいな。母さんが働いて、働いてくれたから、今の僕たちがある。それで十分だよ。これ以上母さんにしてもらったら罰があたる。もういいよ。

　そんな気遣いすんな。子供には苦労かけた。体の調子が悪いとかなんとか言って、修学旅行に行かなかったべ。つらい思いをさせたな。もろってけろ*‼*もろってくれんきゃ、わし心残りで父さんの所へ行けんじゃ。

　十万円、重すぎて母さんの遺影にはさんだ。妹も弟も同じだと。十万円は、僕らには重すぎだ。でも母さんありがとうね。

応募時（北海道66歳）髙田外亀雄